

東洋大学より感謝状をいただきました。

日立財団の合併前の日立みらい財団が発行していた、「犯罪と非行」誌一式を(1号～181号)、東洋大学の皆さまに活用していただくため、寄贈しました。「犯罪と非行」誌は、青少年の非行予防、矯正・更生保護などを含めた犯罪問題全般に関わるものを扱い、刑事政策などを専門に研究・発表する機関誌で、1969(昭和44)年から2016(平成28)年まで刊行していました。



(右)東洋大学 福川理事長
(左)日立財団 田中理事長



日立財団ホームページ「みちのり」の機関紙「犯罪と非行」より
<http://www.hitachi-zaidan.org/michinori/deai/mirai/hanzai.html>

上期イベントカレンダー (2018年4月1日～9月30日)

日程	領域	事業	内容
5月25日	学術・科学技術の振興	日立スカラーシップ	2018年度リサーチサポートプログラム 招聘者発表
6月30日	学術・科学技術の振興	倉田奨励金	2018年度(第50回)倉田奨励金募集開始(締切:9月20日)
7月6日	学術・科学技術の振興	日立スカラーシップ	2019年度リサーチサポートプログラム 募集開始(締切:10月31日)
7月28日 29日	地域コミュニティ支援	竹内亀次郎記念杯 日立市少年少女スポーツ育成大会	バレーボール、バドミントン、ミニバスケットボール実施(於茨城県日立市)
7月29日 9月1日	地域コミュニティ支援	竹内亀次郎記念杯 日立市少年少女スポーツ育成大会	サッカー実施(於茨城県日立市)
8月4日 5日	地域コミュニティ支援	竹内亀次郎記念杯 日立市少年少女スポーツ育成大会	軟式野球実施(於茨城県日立市)
8月27日	人づくり	理工系女子応援プロジェクト	未来をつくるリケジョたち! 2018 ワークショップ開催
9月5日	地域コミュニティ支援	Webマガジン「みらい」対談実施	対談「パパの協力が日本を救う! ~パパがゾンビにならないために~」実施
9月5日	人づくり	日立みらいイノベータープログラム	出張授業1回目実施(於中野区立緑野小学校)
9月7日	人づくり	日立みらいイノベータープログラム	出張授業1回目実施(於日立市立河原子小学校)
9月18日	人づくり	日立みらいイノベータープログラム	出張授業1回目実施(於戸田市立新曾小学校)
9月26日	学術・科学技術の振興	倉田奨励金	倉田奨励金研究報告書 第47集 発行(ウェブサイト)

編集後記

4月から事務局長ならびに編集責任者になりました山口です。3月まで、日立財団をまったくといっていいほど知らず、困惑しながら公益財団法人について猛勉強中です。模索しながらも半年が経過しました。活動現場に行き、支援者の声や感謝の言葉・子どもたちの笑顔に触れ、事業の意義がより深まりました。今回ご紹介した活動の他にも、社会の課題解決のため色々な事業を行っています。私自信の反省をこめ、日立財団を多くの方に知っていただき、皆様にとってもっと身近な財団に近づけるようこれからは色々な手段で情報を発信していきたいと思っております。日立財団のウェブサイトイベント情報や、開催報告など、掲載しておりますので、アクセスしてください!皆様からのご意見お待ちしております。次号は、2019年1月に発行を予定しています。

公益財団法人 日立財団

〒100-8220 千代田区丸の内一丁目6番1号 丸の内センタービル12階
TEL 03-5221-6675 FAX 03-5221-6680
E-mail: hitachizaidan@hdq.hitachi.co.jp

●日立財団のウェブサイト

<http://www.hitachi-zaidan.org>

発行日: 2018年10月12日発行
発行責任者: 床波 忠明 / 編集責任者: 山口 淳嗣 / 印刷: (株)クリエイターズギルド

日立財団 人を育み、未来へ繋ぐ

HITACHI
Inspire the Next

NewsLetter

Vol.31 / 2018.10

日立財団では、年に2回、財団の活動情報を集めたニュースレターを発行しています。シンポジウム、セミナー、表彰式などの活動報告や、最新のトピックスなど、日立財団に関するさまざまなニュースをお届けいたします。ぜひご覧ください!

地域コミュニティ支援

Webマガジン「みらい」3号対談 近日公開



Webマガジン「みらい」は、現代社会が抱える社会課題を多様な視点から、解決に結びつくヒントや回避方法など、幅広い読者に向け発行しています。

2018年度のWebマガジン「みらい」3号は、対談、シンポジウム、論文のそれぞれの特性を活かし、多方面の専門家に、少子化問題について分析していただきます。対談では、女性の社会進出や、女性の晩婚化など、女性への重圧があるなか、男性に求められることは何か、少子化ジャーナリストの白河桃子氏にお話をうかがいました。

【タイトル】「パパの協力が日本を救う! ~パパがゾンビにならないために~」

【ゲスト】白河桃子氏(少子化ジャーナリスト、作家、相模女子大客員教授)

【聞き手】田中幸二(日立財団 理事長)

【公開予定】11月上旬公開 日立財団 Webマガジン「みらい」に掲載



白河桃子(しらかわとうこ)氏
婚活、妊活、就活、キャリアプランなど女性のキーワードについて発信する。山田昌弘中央大学教授とともに「婚活」を提唱し婚活ブームを起こす。少子化対策、女性のライフデザイン、キャリア、男女共同参画、女性活躍推進、不妊治療、ワークライフバランス、ダイバーシティ、働き方改革、などがテーマ。大学生、高校生のために仕事、結婚、出産の切れ目ないライフプランニングを提唱し、出張授業多数。テレビ出演は「情熱大陸」「パンキシャ!」「週刊ニュース深読み!」など多数。

「竹内亀次郎記念杯日立市少年少女スポーツ大会」を開催

今年度も茨城県日立市において、日立財団が日立市体育協会・日立市スポーツ少年団本部と共に主催する「竹内亀次郎記念杯日立市少年少女スポーツ大会」を、開催しました。



●ミニバスケットボールの開会式

本大会は、少年少女の健全な育成を目的に、創業の地である日立市において1978年から開催されている、日立市内のスポーツ少年団に所属する小学生を対象とする大会です。

例年、バレーボール、ミニバスケットボール、バドミントン、サッカー、軟式野球の5種目を同時に開催していますが、今年度は、2019年開催の「いきいき茨城ゆめ国体」競技別リハーサル大会日程や悪天候による順延で、開催が異なりましたが、どの会場も熱い声援を受け大変盛り上がりしました。

種目名	日程
バレーボール、バドミントン、ミニバスケットボール	7/28、7/29
サッカー	7/29、9/1
軟式野球	8/4、8/5



●バレーボール



●バドミントン



●ミニバスケットボール



●サッカー



●軟式野球

第14回 高尾記念科学技術公開セミナー開催のご案内

日立財団では、日立製作所元副社長である故高尾直三郎氏のご遺族から寄贈いただいた基金を活用して科学技術の振興を目的とした公開セミナーを開催しています。

今回は、東京大学生産技術研究所教授、モビリティ・イノベーション連携研究機構長の須田義大氏を講師にむかえ、「自動運転が変える交通と物流」をテーマに開催いたします。

技術開発が進む自動運転車が実用化され、MaaS(Mobility-as-a-Service)という革新的なコンセプトが浸透すると、社会はどう変わるのでしょうか。

本講演では、「自動運転システム」などの技術開発の最新の実証実験をご紹介しますほか、制度設計や政府の動向などについてもお話いただけます。

タイトル: モビリティイノベーション

「自動運転が変える交通と物流」

講師: 須田 義大氏

東京大学生産技術研究所 教授、モビリティ・イノベーション連携研究機構長

日時: 2018年11月18日(日) 13時30分～15時

場所: ワテラスコモンホール
千代田区神田淡路町2丁目101番地 ワテラスコモン3

定員: 100名(受付順) 一般の方 入場無料

申込: ウェブサイトの受付フォームで申込みいただくか、チラシ裏面の申込書をFAXで送信ください。

<http://www.hitachi-zaidan.org/topics/topics056.html>



人づくり

理工系女子応援プロジェクト2018 ワークショップ開催レポート コンピュータグラフィックスで“好き”をカタチに

8月27日、東京都千代田区の水元公園において、理工系女子応援プロジェクト2018「未来をつくるリケジョたち!」を開催しました。

今年は女子中学生を対象に、コンピュータグラフィックスやユーザーインターフェースの研究で活躍している明治大学総合数理学部准教授の五十嵐悠紀先生を講師にむかえ、「コンピュータグラフィックスで“好き”をカタチに」をテーマに、デジタルデザインでオリジナルピース作品を作るワークショップを開催しました。

参加者は、五十嵐先生が開発したインタラクティブピースデザインシステム「Beady」を使って、オリジナルモチーフをデザインし、システム制作支援でデザインをピース作品に仕上げました。初めて触れるCG画面に戸惑いながらも楽しく試行錯誤を重ね、思い思いのデザインを完成させた後、1人ずつ自分の作品を紹介し、こだわったことや難しかったことなど感想を発表しました。

五十嵐先生からは「一見理系とは関係なさそうな手芸ですが、ピースは多面体のデザインであったり、一筆書き理論が使われて

いたりなど、実は数学の世界でもあるのです。理系といっても、例えば今日の手芸のように、いろいろなかわり方があります。自分の興味のあること、可能性に向かって諦めずにチャレンジしてください」との応援メッセージが送られ、参加者からは、「理系の楽しさをまた一つ見つけることができた」などの感想がありました。

講師の五十嵐先生には、日立財団の理工系女子応援プロジェクトサイト「わたしのあした」の連載コーナー「バイオニアトーク」vol.3でもゲストにむかえ、お話を伺っています。

～生活は、サイエンスにあふれています～をテーマに、ご自身の研究の紹介のほか、学生時代や子どものころのエピソード、デジタル時代の子育てについてなど、話題は盛りだくさんです。実際に先生がお話されている様子も動画でご覧いただけますので、ぜひウェブサイト「わたしのあした」もご覧ください。



●参加者がデザインした作品



<http://www.hitachi-zaidan.org/my-tomorrow/index.html>

人づくり

2018年度 日立みらいイノベータープログラム 中間レポート 小学校高学年向け 「問題発見・課題解決スキル」育成プログラムを3校で開始

「日立みらいイノベータープログラム」は、これからの理工系人財に求められる「問題発見・課題解決スキル」を育てるためのプロジェクト型探究学習です。

プログラムでは、社会をより良くするために、問題を発見し、アイデアを形にして課題を解決することを「イノベーション」とし、イノベーションする人のことを「イノベーター」と呼びます。児童たちは、学校をより良くするために、課題を解決する「みらいイノベーター」のたまご。「みらいイノベーター」になるには、「問題発見・課題解決スキル」を身につける必要があります。そこで、学校のリーダーとしてより良い学校をつくっていく立場にある小学校5～6年生が、学校の

課題解決をテーマに、約4か月間プログラムに取り組みます。プログラムは、学校主体で進める2段階の構造になっており、前半2か月はワークシートを使った「問題発見・課題解決スキル」のトレーニング、そして後半2か月はそのスキルを使って、児童たちがチームを組んで課題を解決するためのアイデアを考えていきます。プログラム中に4回実施する出張授業では、日立グループ社員が講師として学校を訪問し、イノベーションの重要性や、問題発見・課題解決の方法、事例などを伝え、児童のアイデアに対して課題解決のプロとしてアドバイスを行うことで、児童が自ら考えることをサポートします。

2018年度は、日立市立河原子小学校(茨城県)、中野区立緑野小学校(東京都)、戸田市立新曽小学校(埼玉県)の3校7クラス向けにプログラムを実施します。7月に出張授業を行う講師向けの研修、8月に実施校の教員向けの研修説明会を行い、いよいよ9月からプログラムが開始しました。

初回出張授業では、まず講師から、「イノベーターとは?」という説明があり、「イノベーターになるには、問題発見・課題解決スキルが必要だよ!」と、これからプログラムに取り組む児童たちに対し、めざすべき目標を示し、しっかりとモチベーションを高めてくれました。



●実験の前に仮説を立てる児童たち



●講師によるプレゼンテーション

続いて早速、実験とワークショップを開始。具体的に、問題発見・課題解決がどのようなものであるかを理解してもらうために、プロセスを分解し、今回は「仮説を立てる」練習を行いました。事例は、水に沈む/沈まない食器。水を張った水槽に、様々な食器を入れる実験で、どれが沈み、どれが沈まないかを予想させ、実際に確かめました。児童たちは積極的に自分の仮説を発表し、実験で確かめると、その結果にとっても盛り上がりました。



●実験の前に仮説を立てる児童たち

児童たちはこれから、問題発見・課題解決の様々なトレーニングに取り組んでいきます。トレーニングを終えると、いよいよ自分たちで学校の課題解決案を企画し、講師に発表。そこで、講師から案を改善するための様々なアドバイスももらい、さらに企画をブラッシュアップしていきます。今後それぞれの学校で、児童たちからどんな課題解決案がでてくるか、そしてトレーニングを経て成長した児童たちに会うのが楽しみです。日立財団はこれからも、課題に挑む力をもった次世代の理工系人財の育成に貢献していきます。